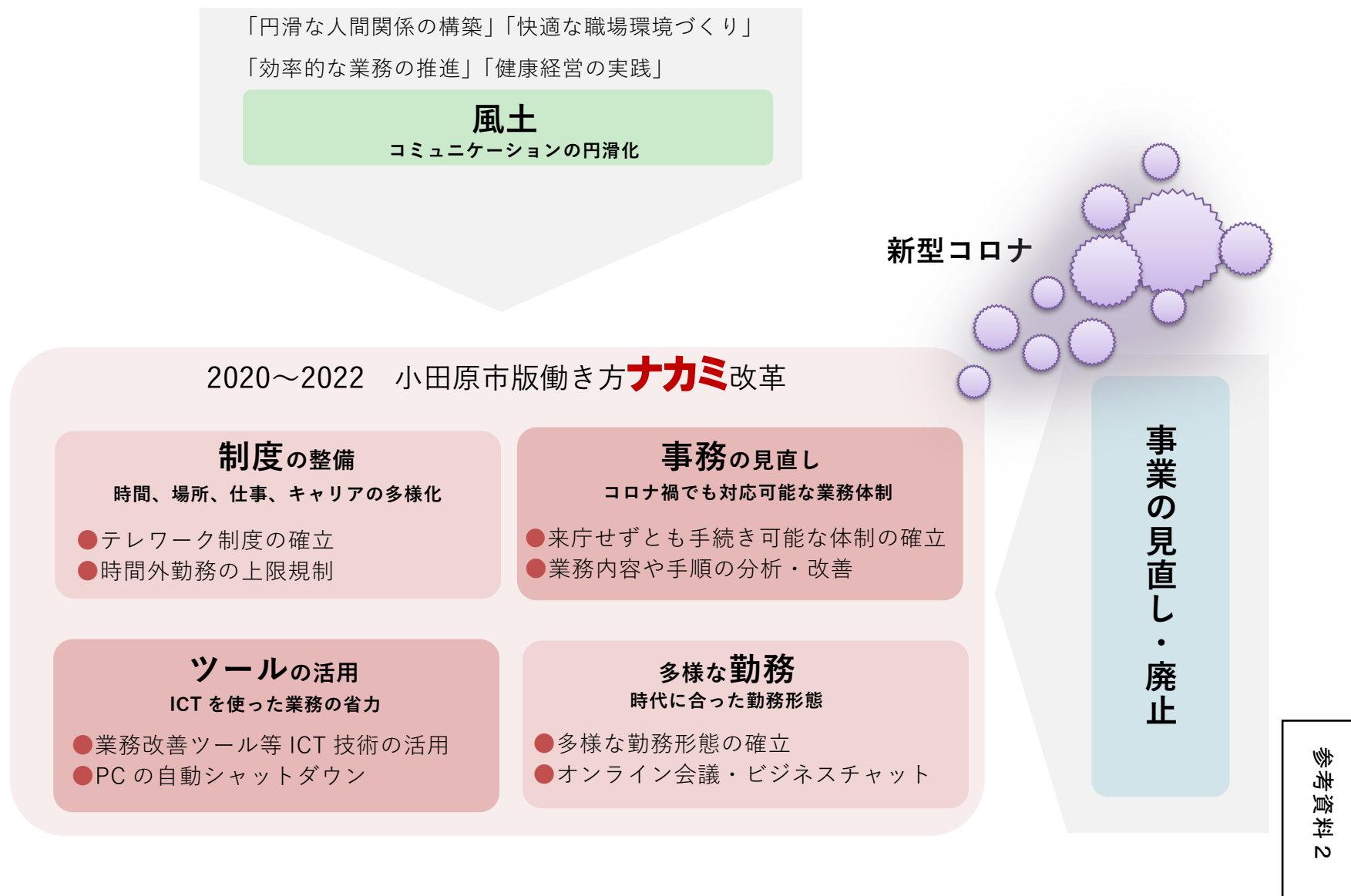


小田原市版働き方ナカミ改革

【イメージ図】



働き方ナカミ改革（令和２年度実績・令和３年度予定）

1 制度の整備

（１）テレワーク制度の確立（職員課）

- ・テレワーク端末を各課１台（計１００台）導入し「テレワークチャレンジ」を実施（２月～６月）
- ・働き方改革講演会の全庁動画配信（３/４～）

◆Ｒ３ テレワークに関する職員アンケート（６月）とアンケート結果に基づく見直し

（２）時間外勤務の上限規制（職員課）

- ・上限規制に係る制度を本格施行

【４～３月実績前年比】 時間数（平均）：▲３.８時間/人（▲２２.８％）

手当額（合計）：▲１７７.２百万円（▲１９.４％）※全会計、休日勤務手当含む

◆Ｒ３ 業務の平準化に向けた調整の開始

2 事務の見直し

（１）来庁せずとも手続き可能な体制の確立（企画政策課）

- ・押印見直しに関する全庁調査、本市の対応の決定と全庁通知
- ・電子申請利用拡大に向けた取組

◆Ｒ３ 押印廃止状況の調査（秋）、効果の大きい申請の電子化を進める

（２）業務内容や手順の分析・改善（企画政策課）

- ・【特定業務見直し】

農政課にて FI を実施（全 18 回） 市長ほか幹部職員への報告（３/２６）

- ・【共通業務見直し：若手 PT】

全庁共通業務（議会事務、庁内照会・回答、会議出席職員数、電話機能）の見直しの検討

◆Ｒ３ 共通業務は検討継続、コロナ禍における業務のあり方の検討

3 ツールの活用

（１）業務改善ツール等 ICT 技術の活用（情報システム課）

- ・「kintone」５ライセンス導入。正式利用可能となり、対象業務の選定中（２月～）

◆Ｒ３ RPA と組み合わせて AI-OCR の実証実験を実施

（２）長時間労働対策（職員課）

◆Ｒ３ 時間外勤務の実態把握と解決策（PC の自動シャットダウン等）の検討

4 多様な勤務

（１）多様な勤務形態の確立（職員課）

- ・職員同士の接触機会の低減に向けた取組率を所属ごと、週ごとに算出。国の 7 割削減目標に対し、本市の削減率は約 4 割（令和 3 年 3 月末時点）

◆Ｒ３ 課題の把握と先進事例の試行的な実施

（２）オンライン会議・ビジネスチャット（情報システム課）

- ・オンライン会議専用スペース共用開始（本庁舎に 1 カ所、共用スペースは 2 カ所）
- ・Logo チャットから新しいビジネスチャットに移行（２/３～）

◆Ｒ３ オンライン会議に関する職員アンケートとアンケート結果に基づく機器設置検討